

# まちの話題 Part 1 TOWN TOPICS



▲大友ナツヨさん

## 大友ナツヨさん ～めでたく満100歳～

この世に生を受けて一世紀、8月4日に大友ナツヨさん(竹田)がめでたく満100歳を迎えられました。二本松市から賀寿、同じく福島県から賀寿と木杯が贈られました。

大友さんの長寿の秘訣は「好き嫌いなく何でも食べること。自分の体を大切にしてきたこと」だそうです。笑顔がとてもかわいい大友さんの、益々のご長寿をお祈りします。

## 「日帰りの秘湯」利用者150,000人達成 ～名目津温泉～

「秘湯」として知られる名目津温泉の利用者が7月28日、15万人に達しました。

記念すべき15万人目の利用者となられた菅野幸子さん(川俣町)には、新野市長から花束と記念品が贈呈されました。菅野さんは、長男と2人で訪れており、花束を手に「とにかく驚きました。今後もできる限り利用したいです」と話していました。

前後賞として、14万9,999人目となった青柳拓也さん(福島市)と15万1人目となった大金勝子さん(福島市)にも記念品が贈られました。



▲左から新野市長、14万9,999人目の青柳さん、15万人目の菅野さん、15万1人目の大金さん

## 東京世田谷で二本松をPR ～第38回せたがやふるさと区民まつり～



都市との交流を推進する本市は、8月1日・2日に東京都馬事公苑で開催された「せたがやふるさと区民まつり」で、二本松の農産物や銘酒、加工品などの販売とPR活動を行いました。

販売ブースでは、世田谷区との交流を続けてきた「NPO法人ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会」が夏野菜やお漬物などを販売し、猛暑となった2日間でしたが、売れ行きも好調でした。

菊むすめも大人気で、会場内のいたる所で二本松の素晴らしさをPRしていました。

## ふるさと二本松の誇りを後世に ～二本松少年隊顕彰祭・墓前祭～

愛する郷土、家族を守るためはかなく散った「二本松少年隊」をしのび、7月28日に、顕彰祭が県立霞ヶ城公園で行われました。二本松藩主丹羽家第18代当主の丹羽長聰<sup>ながとし</sup>氏のあいさつの後、夏の青空の下、二本松剣友会による「日本剣道形」、二本松南小学校の「舞踊」、岳下小学校の「居合」、二本松北小学校の「剣舞」が披露され、福島岳風会二本松吟詠会のメンバーが「戒石銘」などを吟じました。



▲二本松剣友会による「日本剣道形」



▲二本松北小学校児童による「剣舞」



▲二本松南小学校児童による「舞踊」



▲岳下小学校児童による「居合」

少年隊の命日にあたる翌7月29日には、大隣寺にて墓前祭が行われ、少年隊の冥福を祈るとともに、作文コンクールの最優秀賞受賞者による発表も行われました。

二本松北小学校の橋本くんは、少年隊の墓前に向かい「少年隊の皆さん見ていてください。僕は皆さんのように最後まであきらめず一步一步前に進んでいきます」と誓いました。二本松第一中学校の須賀くんは、自分の誕生日が少年隊士の命日に近いことに触れ、「隊士の心の強さに少しでも近づくため、次の誕生日に向けて精一杯今を生きていきます」と力強く読み上げました。



▲小学校の部 最優秀賞  
橋本 拓翔くん  
(二本松北小)



▲中学校の部 最優秀賞  
須賀 紀太くん  
(二本松一中)

豊かな緑に囲まれた静寂な施設のなか、

**祭壇 葬儀用品 お料理 花輪 贈答品**

など、満足のいくサービスを提供いたします。

**ありがとう  
心静かに手を合わす。**

ヨサン イイク ヨー  
**0120-43-1194**

●年中無休 ●24時間受付 ●大駐車場完備

社の中の斎場

ほうりん

ほうりん斎場 二本松市上竹2-286-1  
ほうりん送迎カー TEL.0243-23-5520 FAX.0243-22-7377

東和斎場 二本松市針道字鍛冶屋敷15-1

大山斎場 大玉村大山字玉貫19-7

福島平野斎場 福島市飯坂町平野字大前田1-4  
TEL.024-542-6444 FAX.024-542-4960

# まちの話題 Part 2 TOWN TOPICS

## 子どもたちでにぎわう夏祭り ～市内各所で夏祭りが開催されました～

それぞれの祭りの会場では、さまざまな出店が並び、浴衣姿の家族連れや夏休みを満喫する子どもたちでにぎわっていました。智恵子の里安達夏祭りでは、仮装盆踊りや打ち上げ花火が800発打ち上げられ、華やかに彩られた夏の夜空に大きな歓声が沸き上がっていました。



▲亀谷サカ天まつり(8月1日)



▲もとまちの夏祭り(8月11日)



▲智恵子の里安達夏祭り(8月12日)



▲郭内おらほの夏祭り(8月9日)



▲いわしる夏祭り(8月13日)

## 朝河貫一博士の足跡をたどる ～「合併10周年記念公式訪問団」と「市民の翼」～

合併10周年記念公式訪問団5人と市民の翼(市内の中学2年生10人)が、7月31日から8月7日までの8日間アメリカ合衆国を訪問し、二本松市出身の世界的歴史学者・朝河貫一博士が学んだダートマス大学やイエール大学を訪ねました。一行は、博士の偉大な業績を学び、国際平和のために尽力した博士の姿に感銘を受けました。

ダートマス大学のある姉妹都市・ハノーバー町には、今回で21回目の訪問となりました。現地の方々の心温まる歓迎を受け、ホームステイでは、中学生にとってアメリカの文化を肌で感じる貴重な体験となりました。



▲朝河博士の墓前にて

### やすらぎの丘 二本松斎場



全日本葬祭業協同組合連合会加盟

丸又ふれあい会 会員募集中

葬儀のすべてのご相談・ご用命は

有限会社 **丸又葬儀社**

本店/〒964-0917 福島県二本松市本町2丁目99-2 ☎0243-22-5598  
二本松斎場/〒964-0875 福島県二本松市槻木257-5



**0120-03-5598**

## Live in 箕輪門 ～二本松市出身の「WHITE ASH」

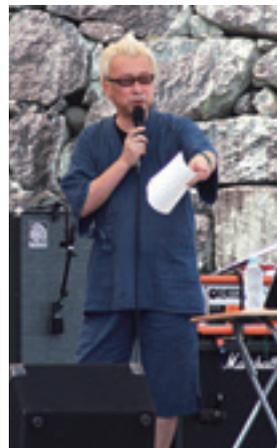
### ギタリスト山さんが凱旋演奏～



▲「WHITE ASH」の山さん

霞ヶ城公園で8月1日に開かれたLive in 箕輪門は、炎天下の中たくさんの方が訪れ、会場は熱気に包まれました。

前半は、県内59市町村を旅しながら地元の魅力を発信する「風とロックCARAVAN福島」が行われ、福島県のクリエイティブディレクターでもある箭内道彦さんのトークを交えながら進行しました。ライブでは、アニメの主題歌を歌っている「WHITE ASH」が熱唱し、会場を大いに沸かせました。中でも、二本松市出身のギタリスト山さんは「故郷への思いを強く込めて歌います」と話し、普段はあまり聞くことのできない歌声を披露しました。



▲クリエイティブディレクターの箭内さん



後半は、テレビ番組の公開収録などが行われ、熱い一日となりました。

## 吹雪の安達太良山で遭難者救助

### ～くろがね小屋管理人・佐藤さんに警察庁長官感謝状～

3月14日、吹雪の安達太良山中で登山中に遭難した男女2人の救助に貢献したとして、くろがね小屋管理人の佐藤敏夫さん(休石原)が警察庁長官より感謝状を授与され、その報告に市役所を訪れました。



▲左から佐藤さん、後藤副市長

吹雪でヘリコプターが近づけない中、二本松警察署から連絡を受けた佐藤さんは、くろがね小屋から捜索に向かい山頂付近で2人を発見。衰弱していた2人のことを考え一晩ビバークすることを決意し、持参した温かいお茶を提供しながら声をかけて2人を励まし続け、翌朝無事ヘリで救助されました。「2人が無事助かって良かった」と語る佐藤さんは、これから紅葉シーズンを迎える安達太良山登山者に対して、「安全登山に心掛け、山を楽しんで欲しい」と話していました。



▲これから秋の紅葉シーズンを迎える安達太良山

## 真夏の二本松を満喫しました ～長野県駒ヶ根市児童との交流体験活動～

8月5日から7日までの3日間、「駒ヶ根市児童との交流体験活動」が行われ、駒ヶ根市の小学校5、6年生53人が二本松市を訪れました。

児童たちは、霞ヶ城の見学や上川崎和紙の紙漉きなどを体験したほか、石井小学校の5、6年生と一緒に水泳などをして交流を図りました。



▲ヒューマンチェアで楽しく親睦



▲真剣に紙漉きの手順を見つめる子どもたち